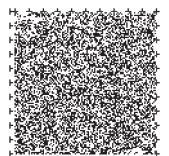


## 第3部

# 第3期杉戸町まち・ひと・しごと 創生総合戦略

1. 策定の目的・趣旨
2. 目指すべき展望
3. 基本目標
4. 本計画との関連
5. 目標指標について



## 1 策定の目的・趣旨

我が国では、人口減少時代の到来に当たり、国では第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成26（2014）年12月に閣議決定し、平成27（2015）年度から取組を進めてきました。

本町においても、人口減少に歯止めをかけるため、平成27（2015）年度から令和2（2020）年度までの6年間を計画期間とした「杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、杉戸屏風深輪産業団地の整備や保育園の建設・誘致、町の魅力発信による交流人口の拡大など、様々な取組を行ってきました。

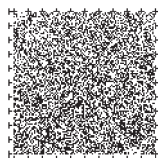
その後、国が第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「国の戦略」という。）を令和元（2019）年12月に策定し、継続的な取組を推進していくこととしたことに伴い、本町においても、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指した取組を継続的に推進していくため、国の戦略及び県の状況を勘案した上で、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づき、「第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

また、国は令和4（2022）年12月、デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化させ、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現に向けて、まち・ひと・しごと創生法第8条第6項に基づき国の戦略を「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に変更し、令和5（2023）年度にスタートさせました。

さらに、令和7（2025）年6月には、「地方創生2.0基本構想」が閣議決定されました。「地方創生2.0基本構想」は、人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じるための基本構想であり、市町村では基本構想の実現のため、市町村の総合戦略にて施策を具体化することとしています。

そのため、第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間満了に伴い、「地方創生2.0基本構想」の「基本的な考え方」に基づき、「第3期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」を策定するものとします。また、本計画のアクションプランとして、重要課題である人口減少に対応するため、重点的に取り組む施策を定め、実行することとします。

なお、計画期間は本計画と併せ、目標年次を令和12（2030）年度とします。あわせて、取組の検証は本計画の進捗管理（PDCAサイクル）に基づき実施します。



## 2

## 目指すべき展望

「地方創生 2.0 基本構想」では、10 年後に目指す姿として、以下の5点が示されています。

- 1 若者や女性にも選ばれる地方をつくる
- 2 地域資源を活用した高付加価値型の地方経済をつくる
- 3 安心して暮らせる地方をつくる
- 4 都市と地方が互いに支え合い、一人ひとりが活躍できる社会をつくる
- 5 AI・デジタルなどの新技術が活用される地方をつくる

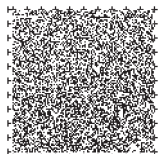
さらに、政策の基本的な柱として、以下の5本が示されています。

- 1 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- 2 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～
- 3 人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～
- 4 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用
- 5 広域リージョン連携

本計画において、様々な人や技術を活用していくことを目指していることを踏まえ、総合戦略においても、それらの視点に基づき、「楽しく働き、暮らせる地域づくり」「安心して生活できる地域づくり」「魅力を実感できる地域づくり」を目標として設定しています。

本町の人口減少対策は、転入数を増やすことや転出数を抑える、あるいは出生率向上などの“量”に関する取組だけではなく、一人ひとりが心豊かに暮らすことができるとともに、地域で暮らし続けることができる“質”にも重点を置くこととします。

一度杉戸町を転出したが再び杉戸町で暮らしたい方や、新たに杉戸町での暮らしを希望する方、そして杉戸町に住み続けたい方の移住・定住を応援することで、まちのにぎわい創出と一人ひとりの豊かさの実現を目指します。



わが国では、人口減少・少子高齢化をはじめ、新たな感染症や災害の激甚化などの予期せぬ事態に加え、ニーズや価値観の多様化等、社会情勢がこれまでとは大きく変化しています。こうした中で、自然豊かな地域でありながら、東武伊勢崎線（東武スカイツリーライン）、東武日光線の分岐点であることや首都圏中央連絡自動車道が隣接するなどの交通の便における本町の優位性やその他追い風となる環境を生かし、魅力を育みながら、にぎわいがあり、住んでいるだけで心豊かになれる地域の構築に向けて、以下のとおり基本目標を設定します。

### 基本目標 1

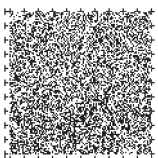
### 楽しく働き、暮らせる地域づくり

持続的な経済成長の実現に向け、基幹産業である農業をはじめ、様々な産業を活性化し、稼ぐことのできる地域をつくるとともに、企業等の持続的な事業運営や雇用の創出を図ります。

また、都心へのアクセスの良さや産業集積などを生かし、働く場所として選ばれるまちとなるよう、賃金面、仕事内容、職場の雰囲気、さらには地域社会における居心地の良さを向上し、誰もが活躍できる環境をつくっていく必要があります。新たな仕事を創出する起業支援や農業をはじめとした産業の担い手への支援の充実を図るとともに、女性の起業や創業のための働き方サポートに取り組みます。

進学・就職などで転出された若い世代や女性などが再び戻ってくるための支援のほか、移住・定住の促進を図ります。

また、すべての子育て家庭が地域で安心して産み育てられる環境づくりを実現するため、結婚・出産・子育て期における支援の充実や、子どもが健やかに成長できるまちづくりを進めます。



## 基本目標2

## 安心して生活できる地域づくり

町民が誰一人取り残されずに安心して暮らし続けることができるよう、多様な主体との連携によりサービスの維持を図ります。また、地域共生社会の実現に向けた連携・協働体制を構築します。さらに、災害から町民を守るための防災力の強化を図るとともに、地域の実情に即した公共交通の検討により、移動しやすいまちづくりを目指します。

また、より快適な暮らしに向けて、様々な分野においてデジタルの力の活用を推進するとともに、デジタルデバイド（情報格差）の解消やデジタル人材の育成に努め、一人ひとりがニーズに合ったサービスを選ぶことができ、誰一人取り残さないデジタル社会の実現を目指します。

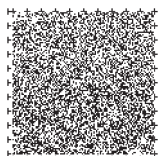
さらに、住み慣れた地域で町民がいつまでもいきいきと生活ができるよう、外出や健康行動を促進する取組を進めるとともに、持続可能なまちに向けた環境整備に取り組みます。

## 基本目標3

## 魅力を実感できる地域づくり

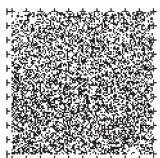
生涯にわたり町民が心豊かに暮らすことができるよう、教育や生涯学習、地域活動への取組などにより、町民がまちの魅力を知り、まちの将来を考え、魅力を実感できる地域づくりに向けて、町民・団体・事業者などの多様な主体の参画・連携などを働きかけるとともに、町民がまちのよさを実感できるための取組を進めます。また、民間企業や大学・高校等との包括連携協定を生かし、地域の創生を目指します。

さらに、魅力を実感できる地域づくりに向けて、豊かな自然環境や景観・文化・スポーツ・産業等の魅力を生かした付加価値向上により、観光振興や関係人口の増加を図ります。



目指すべき展望、基本目標の具体的な展開として、国の動向を考慮し、取組内容を次のとおり設定します。なお、各取組内容と本計画との関連について併記しています。

取組内容	対応する本計画の主な施策
<b>基本目標1 楽しく働き、暮らせる地域づくり</b>	
・魅力的な企業活動の促進と新たな創業・就業支援	施策 22、24
・魅力ある農業の振興	施策 23
・自分らしい働き方の実現	施策 12、25
・結婚・妊娠・出産・子育てへの包括的支援	施策 1、2、3
・多様な保育サービスの実施	施策 1
・市街地のにぎわいづくりの推進	施策 28
・戦略的なシティプロモーションの推進	施策 27
・移住・定住の促進	施策 22、27、28
<b>基本目標2 安心して生活できる地域づくり</b>	
・災害に強いまちづくり	施策 20、29
・身近な安心・安全の確保	施策 21
・地域医療体制・救急医療の充実	施策 15
・公共交通機関の充実	施策 30
・DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進	施策 37
・自主的な健康維持の促進	施策 14
・地域福祉の増進や地域での助け合い活動の推進	施策 16、17、18
<b>基本目標3 魅力を実感できる地域づくり</b>	
・地域とふれあう学校教育の充実	施策 5、7
・地域活動の充実	施策 34
・生涯学習の推進	施策 8、9、10
・多様な連携の推進	施策 37
・観光・交流・地域資源の充実・活用	施策 23、26
・杉戸宿を活用したにぎわいづくりの推進	施策 9、26

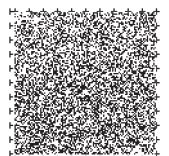


## 5

## 目標指標について

総合戦略の推進においては、次のとおり目標（数値目標及びKPI）を定め、総合的な視点で町民の暮らしやすさ、豊かさの実現を目指します。

項目	現状値（R6）	目標値（R12）
基本目標1 楽しく働き、暮らせる地域づくり		
数値目標		
●人口の社会増減	36人	75人
成果指標（KPI）		
新規創業件数（累積値）	70件	130件
新規就農者数（累積値）	5人	11人
町内産農産物活用数	97個	115個
農地集積率	41.4%	56.0%
地域資源数（推奨土産品、グルメなど）	40個	49個
町ホームページアクセス数	1,910,403件	2,870,000件
SNSフォロワー数	5,338人	8,540人
管理不全空き家解消件数（累積値）	-	25件
こども家庭センター相談者数（実人数）	474人	503人
子育て支援センター利用者満足度	85.5%	90.0%
ファミリー・サポート・センター利用件数	925人	982人
子育て応援アプリ利用者数	1,057人	2,089人
保育所（園）待機児童数	0人	0人
放課後児童クラブ待機児童数	0人	0人



項目	現状値 (R6)	目標値 (R12)
<b>基本目標2 安心して生活できる地域づくり</b>		
数値目標		
●町の住みごちがよいと感じている割合	42.8%	70.0%
成果指標 (KPI)		
自主防災組織の防災士所属率	41.2%	70.0%
地区防災計画策定率	2.0%	10.0%
町内巡回バス利用者数	23,670 人	25,090 人
日常的に健康増進の取組を行っている人の割合	68.6%	77.2%
日常的に近所づきあいをしている人の割合	21.7%※	33.1%
シニアサロン数	25 団体	32 団体
げんき SUGI 体操実施団体数	24 団体	35 団体
障がい者の新規就業人数 (障がい者就労支援センター経由)	17 人	20 人
電子申請可能な申請数	128 件	204 件
<b>基本目標3 魅力を実感できる地域づくり</b>		
数値目標		
●町への愛着や親しみを感じている割合	62.4%	70.0%
成果指標 (KPI)		
包括連携協定に基づく連携事業数	31 件	50 件
生涯学習講座・教室等受講者数	5,071 人	7,271 人
スポーツ教室等参加者数	2,682 人	3,000 人
地域資源数 (推奨土産品、グルメなど) (再掲)	40 個	49 個
アグリパークゆめすぎと来場者数	1,584,023 人	1,679,064 人
歴史・文化財の活用数	2 件	7 件
町ホームページアクセス数 (再掲)	1,910,403 件	2,870,000 件
SNS フォロワー数 (再掲)	5,338 人	8,540 人

※令和5(2023)年の現状値

